

埼玉育ちのグローバル人

～また帰りたくなる国～SAMOA

第1回 「新しい年を2度味わいたい

あなたへおススメ！サモア諸島旅行」

前 JICA 東京 埼玉デスク 国際協力推進員

土屋 雅人



埼玉県マスコット「コバトン」

こんにちは。JICA 青年海外協力隊（サモア・サッカー）OBで、現在はケニア・ルワンダ・ウガンダの東アフリカ3か国にて、サッカーを通して機会に恵まれない子供たちの世界を拓けるお手伝いをしております土屋雅人と申します。

このたび全3回に渡ってエッセイをお届けする機会をいただきましたので、一生に一度は体験してみたい年末年始の過ごし方やメディアでは伝えられていないラグビーワールドカップ2019日本大会™サモア代表のエピソードなどを紹介させていただきます。

“年末年始は暖かい南国で過ごしたいな～”

“新年のお祝いを2回して、タイムスリップした気分を味わいたいな～”

そんなあなたにオススメなのが、南太平洋の島国、サモアです！

サモアがどこにあるのか？日本からの行き方は？といった基本情報は Wikipedia や旅行サイトにお任せして割愛しますが、インターネットで「サモア」と検索すると「サモア独立国（旧：西サモア）」と「アメリカ領サモア」が出てくることがわかります。

前者は独立国家。後者は名前の通りアメリカ合衆国の領土です。

大航海時代や世界大戦時の宗主国の違いから現在の形となっていますが、「サモア」「米領サモア」間の距離は飛行機で30分ほどで、どちらもサモア諸島の島国です。

両国の時差はありませんが、日付が違います。（言い換えると時差±24時間）



よってサモア独立国で新年を迎えたのち、大晦日の米領サモアに戻って再度年越しをすることが可能なのです！

《注意点》

・日本からサモアへ入国する際の空港（＝ファレオロ国際空港）と、サモアから米領サモアへの飛行機が発着する空港（ファガリイ空港）は異なります。

▶サモア⇄米領サモア 運航航空会社
＝Talofa AIRWAYS

[\(https://www.talofaairways.com/\)](https://www.talofaairways.com/)

- ▶運賃＝大人往復：160US ドル、片道：100US
ドル（2019年12月現在）
- ▶4～6便運航/日（※シーズンにより異なる）



Polinesia Airline

- ・一泊二日でサモアから米領サモアへ旅行する場合、飛行機は同じ日付で予約する
⇒両国の日付が1日違うことに注意が必要！！

上記注意点に留意して、これまでにはない年末年始の過ごし方をお考えの方はぜひ選択肢の一つとしてはいかがでしょうか？

どちらも見た目は同じサモア人（種）が暮らしていますが、米領サモアではUSドルが使われていたり、売っている食品も違ったりと両国の違いをぜひ楽しんでみてくださいね！